

第4学年〇組外国語活動学習指導案

令和5年〇月〇〇日(〇)第〇校時

活動場所 4年〇組教室

児童数 29名

指導者 T1

T2 ALT

1. 単元名

『Let's Try! 2』 Unit 7 What do you want? ほしいものは何かな?

2. 単元について

(1) 教材観

○言語材料

○基本表現

What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please.

Here you are. Thank you.

○単語

【野菜】 (vegetable, onions, mushrooms, green peppers, tomatoes, cabbages, corn, carrots, cucumbers, potatoes)

【果物】 (fruits, melons, peaches, bananas, apples, pineapples, cherries, strawberries, oranges, kiwi fruits)

○既出表現等

What's this? It's (a fruit). Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I (have / don't have) (a pen). 果物、野菜、飲食物、文房具、色、数(1~60)

児童はこれまでに、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、友達やALTと簡単なコミュニケーションを図る体験をしてきた。本単元では、相手がほしいものを尋ねたり、自分がほしいものを相手に伝えようとしたりするために、「What do you want?」「I want~, please.」という表現に慣れ親しむ。基本表現となる「What do you want?」「I want~, please.」を核に、キーセンテンスに十分慣れ親しませ、自信をもって会話を楽しめるようにしたい。英語で通じ合うことの楽しさを十分に感じさせ、達成感を味わわせたい。

本単元のゴールとして、二分の一人式で、招待カードを書き、そのカードをパフェの容器に飾り付け、贈る活動を設定している。自分の思いをカードで伝える学習は、目的や相手意識がはっきりしており、児童にとって楽しい活動である。その中で、カードを飾る「パフェ」の果物をお店屋さんで売ったり買ったりすることを通して、目的・相手意識を明確にして活動に取り組ませたい。

また、本単元の中には、世界の市場の様子について理解を深める学習がある。世界の市場との共通点や違いなどを考えることで異文化への理解を深め、実際に自分が買い物をする場面を想像することで、言語活動への意欲を持たせたい。

(2) 指導観

本単元では、本校研究主題の「英語が好きな児童を育てるための外国語活動・外国語における指導の充実」に迫るために、児童が言いたくなる・たずねたくなる場面の設定をする。二分の一人式でおうちの方に渡す招待状の飾りつけとなるパフェを完成させるために、「4-4マーケット」で買い物をする。また、紙粘土でつ

くった果物を売ったり買ったりすることで、より買い物の実体験に近い場を設定した。

第4学年は、今後二分の一成人式を予定している。二分の一成人式では、今まで自分を大切に育ててくれた家族に感謝の気持ちを伝え、将来の自分の目標に向けて今、何をすべきなのか自分で考えたことをおうちの方に直接伝える行事である。その際、おうちの方に渡す招待状を作る。その招待状を飾るパフェにのせる果物を手に入れるため、買い物場面の設定をする。自分の作りたいパフェを考え、それを買う目的があることで、主体的に「What do you want?」「～, please.」という話型を用いてやりとりさせたい。

その上で、まず基本となる野菜や果物の単語に慣れ親しませる。その際、ALT のネイティブな英語での発音に触れながら、実物と音声を結び付けながら繰り返し発音練習に取り組む。その際に、「バナナ」「パイナップル」等、日本語と英語では発音の仕方が異なることに気付かせたい。

第1時では、Let's Watch and Think の活動を通して、映像から日本や外国の市場の様子に興味をもたせ、各国の文化にも目を向け、自国も他国も大切にすることを育みたい。また、映像の中の英語でのやり取りを聞き取らせ、英語で交流する楽しさを感じさせる。単元のゴールを児童と共有し、学習の見通しを持たせたい。

第2時・第3時では、Activity として、ペアの友達にインタビューをしながらピザやサンドイッチを作る活動を行う。ほしいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませ、児童同士で何往復かやり取りを経る会話を楽しませたい。ペアのために作ったピザやサンドイッチを紹介する活動も行う。また、作ってもらったピザやサンドイッチに対する感想も英語で交流させたい。

第4時では、4-4 マーケットを作り、買い物をする場面を設定する。お店屋さんとお客さんに分かれ、英語でほしいものを尋ねたり答えたりすることで、実際に外国で買い物をする場面を設定する。4-4 マーケットに置かれる品物は、紙粘土等で実物を模して作り、より実体験に近い環境で買い物ができるようにする。単数形・複数形は取り扱わず、英語を話すことができた喜びや英語で買い物ができたという達成感を味わせたい。

第5時では、カードを完成させ、飾りつけのパフェに何の果物を使ったのか英語で紹介させる。二分の一成人式に向けておうちの方にも日頃の感謝の気持ちが伝えられるようにする。

今まで、児童同士でのコミュニケーション活動を取り入れて学習してきたが、今回の英語での何往復かのやり取りは、児童にとって初めての活動である。そのため、外国語活動の授業だけでなく、朝の会や帰りの会で英語での短いコミュニケーション活動を取り入れ、繰り返し学習できるように計画した。また、日常生活の中でも意識的に英語を使うことで、自信をもって活動できるようにしていきたい。

また、英語が上手く聞き取れなかった際には、「One more, please.」「Trevane, please.」とお願いしたり、分からない単語はジェスチャーで表現したりすることで、間違いを恐れずに活動に取り組みせていきたい。慣れない英語でも安心して会話のやり取りができ、失敗しても大丈夫というクラスの温かい雰囲気作りにも努めたい。

3. 児童の実態について

本学級の児童は、昨年度から始まった外国語活動にも慣れ、毎週の外国語活動を楽しみにしている。6月実施のアンケートでは、英語の授業に「楽しんで取り組んでいる」と答えた児童は89%であった。ALT と会話することも楽しんでおり、インタビュー活動では、ALT に対し積極的に英語で話しかけようとする児童が多い。

しかし、英単語や会話表現は定着しているとは言えず、自信をもって英語で表現することができない場面が見られる。また、自分の考えていることを英語で表現することが恥ずかしかったり、不安を感じたりする児童も多い。アンケート結果からも「自信がない」「覚えられない」など困っている児童の実態も明らかになった。

そこで、週に1回の外国語活動だけでなく、朝の会や帰りの会、授業中の指示など全教育活動を通して英語

に触れる機会を意図的に設けた。徐々に、英語を使って友達とコミュニケーションを取ろうとしたり、何気ない反応が英語でできたりする児童が増えてきた。

本時の指導に当たっては、どの児童も自信をもって活動できるよう手だてを工夫する。デモンストレーションでは、ALT と担任は学習者のモデルとなり、「失敗しても大丈夫だから、がんばって英語でコミュニケーションを取ろう。」という姿勢を示したい。また、コミュニケーションの場面・状況を工夫して設定し、児童が必要感をもって学習に取り組めるように指導していく。また、ALT のあとに続いて発音する場面を設けたり、カンバセーションカードを活用したりして、自信をもって会話ができるような手立てを工夫する。

4. 研究主題との関連

研究主題

「英語が好きな児童を育てるための外国語活動・外国語における指導の充実」

目指す児童像

「英語が好きな児童」

仮説① 英語が楽しいと感じられる指導の充実を図れば、英語が好きな児童の育成ができるだろう。

手立て

○授業スタイルの確立

昨年度から、外国語活動が始まり児童は、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ友だちや指導者と簡単なコミュニケーションを図る活動を積み重ねてきた。英語でのやり取りを交わす場面を多く設定することで、英語を使って意思疎通をとる楽しさを味わわせ、伝わったという喜びや、英語を使うことができたという達成感を実感させる。それにより、英語を学ぶ意欲を高め、英語好きな児童の育成ができると考える。また、外国語の授業の構成を学年で統一し、児童の反応や理解度などを基に都度、授業改善を行っている。

○言語活動の充実

単元のゴールを見据え、「コミュニケーションの目的や場面、状況の工夫」に重点をおいて指導を進めていき、児童が「やってみたい」「話してみたい」と英語で表現することの楽しさを十分に味わえる授業を設定する。

本単元における「コミュニケーションの目的や場面、状況」は、二分の一成人式の招待状を飾るパフェをつくるために、パフェに載せる果物をお店屋さんで売ったり買ったりする活動である。この単元を通し、自分の考えを英語で表現する楽しさを味わうことができると考える。

○小中の連携

中学校への授業参観を通して、中学校で行っている Classroom English やあいづちなどを取り入れた授業を展開している。小学校でも中学校でも授業で使う英語が慣れ親しんだものとなり、中学校での英語学習でも、表現に慣れ親しんだ耳を使って楽しく授業に参加できるようにしたい。

○児童によるふりかえりの習慣化

毎時間の授業の自分の学習を自分や友だちが評価することで、その時間に学んだことや次への課題などを言語化してカードに記録できるようにする。タブレットも活用し、自分や友だちの英語でのやり取りをふりかえり、互いのよいところを認める活動を設定したい。自分や友だちの良さを見つけることで、「英語学習が楽しい」、「よりよくしたい」という児童の意欲を高めたい。

仮説② 外国語を活用できる環境を整備し、英語に親しむ機会を増やせば、英語が好きな児童が育成できるだろう。

手立て

○外国語を繰り返し楽しく学習できる掲示物の工夫

教室の中に、英語のあいづちを掲示し、常に子どもたちの目には英語でのあいづちが目に入るようにし、日常のふとした場面でも英語を使ってあいづちをうつことができる。また、廊下掲示には、日常生活で使う英単語をクイズ形式で掲示したり、ボタンを押すことでALTの発音をすぐに聞くことができる教材を準備したりして、自主的に英語に触れられる環境を設けた。そのことで、英語に慣れ親しむ機会を増やすことができると考える。

○学校全体における外国語による取り組みの充実

毎日の朝の会での一口英語を通して、身近な物の英語の言い方を知ったり、5 Questions を練習したりして、英語に親しむ機会を増やす。また、英語による校内放送を通して、自然と英語が耳に入り、英語に興味をもつ児童が増えたと考える。

○小中連携

小中で共通の Classroom English を、外国語学習の初期段階となる4年生での授業から、段階的に取り入れることで、中学校進級後も同じ英語を繰り返し聞くことができる。それにより、英語に対しての不安感を取り除き、自信をもって授業に参加できると考える。

○English ソングの導入

今月の歌として英語の曲を歌うことで、リズムに合わせてながら英語に慣れ親しむことができる。体を動かし、身振り手振りが必要な曲を選曲することで楽しみながら英語の歌詞を覚えることができる。また、学校内ですべての学年が同じ曲を繰り返し歌うことで定着が進み、新しい学年でも安心して歌うことができる。

仮説③ 児童の実態を把握し、それに即した指導方法の改善を行えば、英語が好きな児童が育成できるだろう。

手立て

○児童の実態を把握するためのアンケート

アンケートを通して、英語に対して好きと感じている児童がほとんどだが、好きでも、「自信がない」「覚えられない」と消極的な考えをもっている児童もいることが分かった。そこで、自信をもって会話ができるようにペア学習を取り入れ児童同士で教え合いができるようにする。朝の会や帰りの会などに語彙や基本表現を繰り返し確認し、「覚えたことを活用する」場面を多く設定したい。また、ALTのあとに続いて発音する場面を設けたり、カンバセーションカードを活用したりして、自信をもって会話できるような授業を行う。

○教員の意識調査

校内研修を通して、評価方法についての共通理解をし、正しく評価することにより、指導と評価の一体化を図る。

5. 単元の目標

- ・食材の言い方や欲しいものを尋ねたり、要求したりする表現に慣れ親しむ。〈知識及び技能〉
- ・欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。
〈思考力・判断力・表現力等〉
- ・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

6. 単元の評価規準

	聞くこと 聞	話すこと [やり取り] や	話すこと [発表] 発
知識・技能	<p><知識></p> <p>①欲しいものを尋ねたり要求したりする文章の特徴に気付き、内容を理解しようとしている。</p>	<p><技能></p> <p>①I want ～. を用いて、ほしい食材を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。</p>	
思考・判断・表現		<p>①食材の言い方や欲しいものを尋ねたり要求したりする表現を用いて伝え合っている。</p>	
主体的に学習に取り組む態度		<p>①相手の欲しい食材を知り、自分の欲しい食材を伝えるために、簡単な語句や基本表現を用いて、考えを伝えようとしている。</p>	<p>①相手に伝わるように工夫しながら、簡単な語句や基本的な表現などを用いて、自分の考えを伝えようとしている。</p>

7. 単元計画(5時間)

時	目標(◆)と主な活動(【】、○)【】=誌面化されている活動	評 価			
		知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	態	◎評価規準 <評価方法>
1	<p>◆世界の食生活と自分たちの食生活の共通点や相違点に気付くとともに、食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○5 Questions</p> <p>○発音体操</p> <p>○Small talk(果物と野菜について)</p> <p>○誌面には何があるかな。 ・誌面にあるものなどを発表する。</p> <p>○Intro 果物や野菜の語彙の確認</p> <p>○【Let's watch and think】 p. 26, 27 ・映像を見て、世界の市場と日本の市場を比べ、気付いたことを発表する。</p> <p>○【Let's Play】 p. 26, 27 ・おはじきゲームを通して絵と語を結びつける。</p> <p>○【Let's Chant】 p. 27 ・”What do you want?”のチャンツを繰り返し歌う。</p>	<p>聞</p> <p>①</p>			<p>◎欲しいものを尋ねたり要求したりする文章の特徴に気付き、内容を理解しようとしている。</p> <p><行動観察></p> <p><振り返りカードの分析></p>

	<p>○本単元のゴールを確認する。</p> <p>・二分の一成人式に向けて保護者の方に気持ちを伝えるという最終活動への見通しをもつ。</p>				
2	<p>◆オリジナルピザづくりを通して欲しいものを尋ねたり要求したりして伝え合う。</p> <p>○5 Questions</p> <p>○発音体操</p> <p>○Intro 基本表現と語彙の確認</p> <p>○【Let' s Chant】 p. 2 7</p> <p>・” What do you want?”</p> <p>○Small talk(好きなピザの具材について)</p> <p>○ステレオゲーム</p> <p>・一斉に発音された食材の名前を聞き取り、だれがどんな食材が欲しいのか発表する。</p> <p>○【Let' s Listen】 p. 2 8</p> <p>・野菜や果物の音声を聞き、缶詰のリストと人物のリストを線で結ぶ。</p> <p>○【Activity】「友だちと食材カードをやり取りして、オリジナルピザを紹介しよう」p. 2 9</p> <p>・オリジナルピザに入りたい食材カードのやり取りをする。</p> <p>・できたピザをペアで紹介する。</p> <p>(例)Look, this is my～. I want～.</p>	<p>や</p> <p>①</p>			<p>◎ I want ～.</p> <p>を用いて、ほしい食材を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。</p> <p><行動観察></p> <p><振り返りカードの分析></p>
3	<p>◆オリジナルサンドイッチづくりを通して欲しいものを尋ねたり要求したりして伝え合う。</p> <p>○5 Questions</p> <p>○発音体操</p> <p>○Intro 基本表現と語彙の確認</p> <p>○【Let' s Chant】 p. 2 7</p> <p>・” What do you want?”</p> <p>○Small talk(好きなサンドイッチの具材について)</p> <p>○ステレオゲーム</p> <p>・一斉に発音された食材の名前を聞き取り、だれがどんな食材が欲しいのか発表する。</p> <p>○【Let' s Listen】</p> <p>・登場人物が自分のフルーツパフェを紹介するのを聞いて、誌面のパフェと人物のイラストを線で結ぶ。</p> <p>○【Activity】「友だちと食材カードをやり取りして、オリジナルサンドイッチを紹介しよう</p> <p>・オリジナルサンドイッチに入りたい食材カードのやり取りをする。</p> <p>・できたサンドイッチをペアで紹介する。</p> <p>(例)Look, this is my～. I want～.</p>	<p>や</p> <p>①</p>			<p>◎食材の言い方や欲しいものを尋ねたり要求したりする表現を用いて伝え合っている。</p> <p><行動観察></p> <p><振り返りカードの分析></p>

4 本 時	<p>◆オリジナルパフェづくりを通して欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○5 Questions</p> <p>○発音体操</p> <p>○Intro 基本表現と語彙の確認</p> <p>○【Let' s Chant】 p. 2 7 ・” What do you want?”</p> <p>○Small talk(好きなパフェについて)</p> <p>○ステレオゲーム ・一斉に発音された食材の名前を聞き取り、だれがどんな食材が欲しいのか発表する。</p> <p>○【Activity】「友だちと食材カードをやり取りして、オリジナルパフェを紹介しよう」 ・店員役と客に分かれてお店屋さんごっこをしてオリジナルパフェに入りたい果物をやり取りする。</p>		や ①	◎相手の欲しい食材を知り、自分の欲しい食材を伝えるために、簡単な語句や基本表現を用いて、考えを伝えようとしている。
5	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。</p> <p>○5 Questions</p> <p>○発音体操</p> <p>○Intro 基本表現と語彙の確認</p> <p>○【Let' s Chant】 p. 2 7 ・” What do you want?”</p> <p>○Small talk(二分の一成人式について)</p> <p>○【Activity】 ・おうちの方に渡すパフェを友だちと紹介し合う。 ・おうちの方に渡す招待状を作る。</p>		発 ①	◎相手に伝わるように工夫しながら、簡単な語句や基本的な表現などを用いて、自分の考えを伝えようとしている。 <行動観察> <振り返りカードの分析>

8. 本時の展開

目標 スペシャルパフェをつくるために、友だちとの会話を楽しんで、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

準備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(果物)、カンバセーションカード、紙粘土でつくった果物、透明なカップ、振り返りカード(探検バッグ)

○本時の展開(4/5)

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価<方法> T1:HLT T2:ALT	準備物
3分	<p>○挨拶をする。</p> <p>○5 Questionsを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>How are you? What day is it today? What's the date today? What's the weather like today? What time is it now?</p> </div> <p>・今日の担当の児童が前で言う。 ・全体で言った後、ペアで伝え合う。</p>	<p>T1…児童と一緒に言う。 T2…発音が分からない児童と、一緒に発音する。</p>	
3分	<p>○発音体操をする。</p>	<p>T1・T2…児童と一緒にやる。</p>	<p>・デジタル教材</p>
2分	<p>○Intro</p> <p>・ALTに続いて果物や野菜の名前を発音する。</p> <p>・基本表現と語彙を確認する。</p>	<p>T2…教師用カードを使いながら、果物や野菜の名前を発音する。</p>	<p>・教師用カード (果物・野菜)</p>
2分	<p>○【Let's Chant】 What do you want? p. 27</p> <p>・音声に合わせてチャンツを言う。 ・お店での買い物場面を考えて、チャンツを言う。</p>	<p>T1・T2…デジタル教材を提示し、児童と一緒に歌う。</p>	<p>・デジタル教材</p>
3分	<p>○Small talk(好きなパフェについて)を聞く。</p> <p>・T1とT2の買い物についてのやり取りについて聞く。</p> <p>・ペアでどんなやり取りをしていたか話し合い、発表する。</p> <p>・自分ならパフェをつくるためにどんな果物がほしいか発表する。</p>	<p>T1・T2…短い会話をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T1:Hello. T2:Hello. T1:How are you? T2:I'm great. And you? T1:I'm good. Thank you. May I help you? T2:Thank you. I'm going to make parfait for my mom. T1:That's wonderful. What do you want for today? T2:I want an apple, please. T1:OK. Here you are. T2:Thank you. T1:Have a nice day. T2:Have a good day. T1:Talk with your partner.</p> </div>	

3分	<p>○本時のねらいを知る。</p> <p>スペシャルパフェをつくるために、お店屋さんとお客さんになりきって、欲しいものを尋ねたり答えたりしよう。</p> <p>・めあてを達成するために具体的にどんなことをするか考え、ワークシートに記入する。</p>	<p>T1…本時のねらいを伝える。</p> <p>T1…ワークシートにめあてを記入させる。</p>	
5分	<p>○Demonstration</p> <p>・T1とT2のデモンストレーションを見て、英語で買い物をする方法を確認する。</p> <p>・T2の後に続いて発音する。</p> <p>・T2と児童で買い物のやり取りの練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">買い物のルール</p> <p>①お店は3つ以上行く。</p> <p>②1つのお店で、買える品物は2つまで</p> <p>③時間内でできるだけたくさんのお店</p> </div> <p>・ペアで練習する。</p>	<p>T1・T2…デモンストレーションをする。ゆっくりはっきり発音する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T1:Hello.</p> <p>T2:Hello.</p> <p>T1:How are you?</p> <p>T2:I'm great. And you?</p> <p>T1:I'm good. Thank you. May I help you?</p> <p>T2:Yes, please.</p> <p>T1:What do you want for today?</p> <p>T2:I want apple, please.</p> <p>T1:OK. Here you are.</p> <p>T2:Thank you.</p> <p>T1:Have a nice day.</p> <p>T2:Have a good day.</p> </div> <p>T1・T2…児童への発音の手助けをする。</p>	<p>・カンパセーションカード</p>
3分	<p>○【Activity 1】</p> <p>○1/3の児童がお店屋さん、残りの児童がお客さんになり、買い物をする。</p> <p>・お店屋さんの児童は、お客さんに何が欲しいか英語で尋ねる。</p> <p>・お客さんの児童は、欲しい果物を英語で伝える。</p> <p>・お店屋さんの児童は、どこほしいか英語で尋ねる。</p> <p>・お客さんの児童は、欲しい数を英語で伝える。</p> <p>・お店屋さんの児童は、お客さんに言われた数の果物を渡す。</p>	<p>T1…積極的にやり取りをしているペアを見つける。</p> <p>T2…児童への発音の手助けをする。</p> <p>◎欲しいものを尋ねたり答えたりして伝えあっている。〈行動観察・振り返りカード点検表〉(思考・判断・表現)</p>	<p>・果物のねんど</p>

3分	<p>○自分と友だちのコミュニケーションの良いところを見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Good points</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Eyecontact ・ Big voice </div>	<p>T1…積極的にやり取りしている児童に発表させる。</p> <p>T1…よかったやり取りの例から、「Good points」をまとめる。</p>	
3分	<p>○【Activity 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Activity 1 のときと役割を交代して、買い物をする。 ・「Good points」を意識して買い物のやり取りをする。 	<p>T1・T2…児童への手助けをする。</p>	
3分	<p>○自分と友だちのコミュニケーションの良いところを見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Good points</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enjoy ・ Gesture ・ Smile ・ Try </div>	<p>T1…積極的にやり取りしている児童に発表させる。</p> <p>T1…よかったやり取りの例から、「Good points」をまとめる。</p>	
3分	<p>○【Activity 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Activity 1・2 のときと役割を交代して、買い物をする。 ・「Good points」を意識して買い物のやり取りをする。 	<p>T1・T2…児童への手助けをする。</p>	
5分	<p>○Feed back</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人組で自分たちのやり取りをふりかえり、よい点について話し合う。 ・カードに評価を記入する。 		
3分	<p>○Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 	<p>T1…児童の活動で良かったところを評価する。</p> <p>T2…児童の活動や発音について良かったところを評価する。</p>	<p>・振り返りカード</p>
1分	<p>○挨拶をする。</p>	<p>T1・T2…挨拶をする。</p>	

9. 板書計画

<p>曜日 月日 天気</p>	<p>Today' s goal</p>		<p>T1:Hello.</p>																									
<p>天気</p>		<p>スペシャルパフェをつくるために、お店屋さんとお客さんになりきって、欲しいものを尋ねたり答えたりしよう。</p>		<p>T2:Hello.</p>																								
<ul style="list-style-type: none"> • Greeting • Let' s Chant • Words • Today' s goal • Activity 1 • Activity 2 • Activity 3 • Reflection • Greeting 		<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" data-bbox="383 324 542 358">Fruit</th> <th colspan="2" data-bbox="742 324 997 358">Good points</th> </tr> <tr> <td data-bbox="406 369 534 425">melon</td> <td data-bbox="550 369 694 425">peach</td> <td colspan="2" data-bbox="742 369 997 425">Big voice</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 436 534 492">apple</td> <td data-bbox="550 436 694 492">pineapple</td> <td colspan="2" data-bbox="742 436 997 492">Eyecontact</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 504 534 560">strawberry</td> <td data-bbox="550 504 694 560">orange</td> <td colspan="2" data-bbox="742 504 997 560">Smile</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 571 534 627">banana</td> <td data-bbox="550 571 694 627">cherry</td> <td colspan="2" data-bbox="742 571 997 627">Try</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 638 534 694">Kiwi fruit</td> <td data-bbox="550 638 694 694">Whipped cream</td> <td data-bbox="710 638 853 694">gesture</td> <td data-bbox="869 638 997 694">enjoy</td> </tr> </table>		Fruit		Good points		melon	peach	Big voice		apple	pineapple	Eyecontact		strawberry	orange	Smile		banana	cherry	Try		Kiwi fruit	Whipped cream	gesture	enjoy	<p>T1:How are you?</p> <p>T2:I' m great. And you?</p> <p>T1:I' m good .Thank you.</p> <p>T2:May I help you?</p> <p>T1:Yes, please.</p> <p>T2:What do you want for today?</p> <p>T2:I want an apple, please.</p> <p>T1:OK. Here you are.</p> <p>T2:Thank you.</p> <p>T1:Have a nice day.</p> <p>T2:Have a good day.</p>
Fruit		Good points																										
melon	peach	Big voice																										
apple	pineapple	Eyecontact																										
strawberry	orange	Smile																										
banana	cherry	Try																										
Kiwi fruit	Whipped cream	gesture	enjoy																									

Grade	Class	Number	Name
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Today's Goal

スペシャルパフェをつくるために、お店屋さんとお客さんになりきって、
ほしいものをたずねたり答えたりしよう。

Feed back

自分での評価	めあて	ペアからの評価
◎・○・△	①自分がほしいものを買うことができた	◎・○・△
◎・○・△	②お客さんがほしいものを売ることができた	◎・○・△
◎・○・△	③大きな声で言えた	◎・○・△
◎・○・△	④目を見て言えた	◎・○・△
◎・○・△	⑤	◎・○・△

Reflection

授業	日付	自己評価	ふりかえり
4	/	◎・○・△	_____